

はじめに

本校では昨年度、校内研究において「児童の願いや思いを実現する学級活動～学びの主体者は子供～」を主題に設定し研究を進めてきた。児童の居場所づくりの重要性とともに、児童が達成感や自己効力感を味わうことで、次への活動への期待感が生まれる土台が醸成されることを再認識した。今年度はこの研究成果をもとに、子供たちの大きな将来の夢だけでなく「明日はこれをやってみたい」「この授業が楽しみ」という小さなワクワクを積み重ねる教育活動を展開するとともに、教職員、児童が当事者となって自分たち学校を創りあげる学校づくりを目指すことにした。

「夢つかみ取る学校 明日また来たいなと思える場所に」を合言葉に掲げ、児童一人一人の夢と思いを大切に、児童や教職員、地域の願いをかなえることができる教育活動を展開する。

1 目指す学校

- 児童が自らのよさや可能性を広げ、夢を実現する学校
- 教職員がやりがいを持ち、自らの力を最大限に発揮する学校
- 学校・家庭・地域が協働し、共に児童の成長や学びを支える学校

2 中期的目標と方策

学校の教育目標である「たくましい子」「思いやりがある子」「よく考える子」「進んで働く子」の育成を中期的目標とする。学校の教育目標の実現を目指し、全職員が主体的に学校運営を行うとともに、児童、教職員、保護者、地域が学校づくりに参画し、教育の質も向上を図る。

学校の教育目標を達成するための教育活動の基本方針及び、方策は次のとおりである。学校評価については、これらをカリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施し教育課程の改善を図る。

(1) 「たくましい子」とは、夢に向かってあきらめない心をもった子を育てる。

基本方針 強い心と体を持ち、予測困難な時代を生き抜く力が身につくよう、主失敗を恐れずに挑戦し、立ち直る力や主体的に解決する意欲や自信をもって行動する力を育む教育活動を推進する。

- ① 自分の学びを自分でコントロールし、実現に向けて根気強く取り組む力を育てる。
- ② 生活・運動習慣を身に着け、健康で安全な生活を送る力を育む。
- ③ 危険を予測し回避する力、他者や社会の安全に貢献できる力を育む。

(2) 「思いやりがある子」とは、「明日また来たい」とみんなが思える優しい言葉をかける子を育てる。

基本方針 命を大切にし、互いに尊重し敬愛し合う心情や態度が身に付くよう他者と共感・協働することができる多様性を生かした教育活動を牛審する。

- ① 自他の生命を大切にし、偏見や差別のない人間関係を築く力を育む。
- ② 規範意識を高め、思いやりの心をもって人と関わる力を育む。
- ③ 多様な価値観をもつ人々と関わる中で、異なる意見から新しい価値を創造する力を育む。
- ④ 心の触れ合いを大切にしたい気持ちのよいいあいさつができるようにする。

(3) 「よく考える子」とは、どうすれば夢に近づけるのか自分たちで考えられる子を育てる。

基本方針 自ら考えたことが実現する力が身に付くよう、学びに向かう力を育てる探究的な学習を充実させ、市民性を育む教育活動を推進する。

- ① 探究学習の中で、自分で解決した方法を選択・決定しながら学習を進める力を育む。
- ② 対話から問いを立て解決策を見だし、他者と共感・協働して学ぶ力を育む。
- ③ 人と関わって学習を進める中で、自分の考えや生き方を見つめ直す力を育む。
- ④ 学習の基盤となる言語能力と情報活用能力を育む。

(4) 「進んで働く子」とは、みんなが来たくくなるような素敵な学級・学校を自分たちの手で創ろうとする子を育てる。

基本方針 母校や地域を愛し、地域社会の一員として自らの力を最大限に発揮することができるよう、社会参画し貢献する力を育む教育活動を推進する。

- ① 学校の生活の中で、自分の役割や責任を果たそうとする力を育む。
- ② 学校行事や学級活動を通し、よりよい学校・学級を創ろうとする意欲を育む。
- ③ 地域の人（地域の関係機関等）と協働して学び、社会参画・貢献する力を育む

3 今年度の重点目標と方策

○重点目標「よく考える子」

(1) 自ら学びを創り出す力の育成

- ・生活の中や教科等の学習との関連から課題を見付け、最適な解決方法を選択実行し、達成感を味わう
- ・多様な他者と対話を通して、共に学ぶ楽しさや自己の成長を実感する。

(2) 学校・地域未来を創る参画力の育成

- ・自分たちの学校生活をより良くするために、自発的・自治的な活動を通じて安心・安全な環境を自ら生み出す。

- ・地域の課題を「自分事」として捉え、解決に向けた提案や行動を通じて、社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献しようとする意欲を高める。

(3) 多様な価値観を尊重し共生する力の育成

- ・人と関わることを楽しみ、互いの良さを認め合いながら、新たな価値観を協働して創り上げる。
- ・一人一人のよさを生かしながら創り上げていく喜びを実感する。
- ・保護者や地域の方、外部講師など、様々な人と関わることで、他者の生き方や考え方、多様な価値観に触れさせ、自己の未来を展望する

4 学校運営に関わる取組

(1) 開かれた学校づくりを推進するための取組

- ・開かれた学校づくり協議会では、熟議を通して、引き続き教育活動への支援を行うとともに、委員の経歴や職業等を生かし児童の学習活動を豊かにする取組を行う。
- ・委員の教育活動の参加、児童や教職員との対話を通し、地域とともに歩む学校をつくる。

(2) 義務教育9年間のゴールの明確化や、小・中学校間で共有するための取組

- ・小中連携日では、どのような状態で入学をしてほしいのか、小学校側がどのような力をつけて送り出すかを合意するプロセスを設ける。

(3) 教職員のやりがい支援や校務DXを含めた働き方改革の取組

- ・クラウドツールを活用し、情報共有のスピードアップと会議時間の短縮を図る
- ・デジタル採点の効率化を推進し、事務作業の負担を軽減することで、子供一人一人を多角的に見つめる時間を確保する。
- ・小規模校の特性を生かした「チーム担任制」的アプローチにより特定の個人に負担が偏らない協力体制を確立する。

(4) 全教職員が学校運営の主体者となるための取組

- ・定期的な対話を通して、個々の教職員の強みやキャリアの願いを尊重した校務分掌や役割分担を行う。
- ・小さな改善や挑戦をたたえ合う文化を醸成し、教職員が「この学校で働いてよかった」と実感できる達成感を共有する。